

## はじめに

サトウタツヤ  
(立命館大学文学部)

この冊子は、『ヒューマンサービスリサーチ』の第一号として、2005年夏・秋に行った二つの企画の記録を公刊するものである。

二つの企画はいずれも医療が中心テーマであるが、自然科学的な医療技術の研究ではなく、人文社会系の視点から新しい視座を切り開こうとする野心的な試みであった。これらの企画が成功したかどうかはもとより読者のみなさんに委ねるしかないが、私たちとしてはこの蓄積のもと、さらなる研鑽と展開を行いたいと思っている。

1つめの企画にはハーバード大学のアーサー＝クラインマン先生がご出席の予定であったが、ご家族の病気で急遽キャンセルとなった。この重大な危機にあたり、大橋英寿・放送大学教授には基調講演をお願いすることができた。予定変更にもかかわらず出席していただいた多くの皆様と大橋先生に深く謝意を表する次第である。

2つめの企画では、カナダの医療社会学者・アーサー＝フランク先生（カルガリー大学教授）にご出席いただくことができ、最新の知見を披露していただくと共に、日本の研究者との議論と交流を行っていただいた。氏の病いの語り及び飾らない人柄は私たちに魅了した。

最後に、今回の2つの企画に携わっていただいた全ての人に感謝の意を表したい。またこれらの企画は日本学術振興会 人文社会科学振興のためのプロジェクト研究事業の「ボトムアップ人間関係論の構築」プロジェクト（代表・サトウタツヤ）との共同主催であることを付記する。

2006年2月20日

## 多分野連携における医療人類学の可能性

日時 2005年8月24日(水)13時から18時

場所 立命館大学 以学館一号ホール

**基調講演** 大橋英寿(放送大学副学長)

**シンポジウム**(座長:松岡悦子(旭川医科大助教授))

江口重幸(東京武蔵野病院)・児島達美(長崎純心大学人文学部)

田垣正晋(大阪府立大学社会福祉学部)・岩崎弥生(千葉大学看護学部)

星野晋(山口大学医学部)・北中淳子(McGill/慶応大学)

**主催** 立命館大学 人間科学研究所

日本学術振興会 人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業の「ボトムアップ  
人間関係論の構築」プロジェクト

国立民族学博物館(共同研究「健康・医療・身体・生殖に関する医療人類学の応用的  
研究」プロジェクト)

**後援** 日本質的心理学会

## アーサー・フランク「病いと語り」講演会・シンポジウム

日時 2005年9月4日(日)15時から18時

場所 立命館大学 創思館カンファレンスルーム

**基調講演** Arthur Frank(Calgary 大学)

日本語解説=三田地真実(教育ファシリテーション・オフィス)

日本ファシリテーション協会理事)

**シンポジウム**(司会:サトウタツヤ(立命館大学人間科学研究所))

田垣正晋(大阪府立大学社会福祉学部)・今尾真弓(名古屋大学医学部)

川口有美子(NPO法人さくら会・日本ALS協会・立命館大学大学院)

Arthur Frank・小島康次(北海学園大学)

**主催** 立命館大学 人間科学研究所

日本学術振興会 人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業の「ボトムアップ  
人間関係論の構築」プロジェクト(代表・サトウタツヤ)

**共催** 科研費プロジェクト「語りをとらえる質的心理学の研究法と教育法」研究会(代表・や  
まだようこ)

**後援** 日本質的心理学会